

司祭不在のときの主日の集会祭儀(試用版)
—「朝の祈り」の形式(聖体拝領を行う場合)—

開祭

1 初め

会衆が集まると、各共同体で決めた方法によって式の始まりが知らされる。

一同は起立し、司会者とともに自らに十字架のしるしをする。

司 ✦ 神よ、わたしを力づけ、

一同 急いで助けに来てください。

司 栄光は父と子と聖霊に、

一同 初めのように今もいつも世々に。アーメン。(アレルヤ。)

2 賛歌

典礼季節やその日の特徴を考慮して、ふさわしい賛歌を歌う。

3 招きのことば

司会者は、ふさわしい言葉で一同を招く。

詩編唱和

4 一同は着席し、詩編を唱える。先唱の「アレルヤ」は四旬節には省く。

歌う場合は『教会の祈り』の旋律(『典礼聖歌』363)を用いる。

第一唱和(詩編63・2-9) 神を慕う心

先 あなたの力と栄えにあこがれて、神よ、わたしはあなたを慕う。アレルヤ。

待降節、四旬節に

先 いのちのある限り、あなたに感謝し、あなたの名を呼び求める。(アレルヤ。)

神よ、わたしの神よ、わたしはあなたを慕う。

水のない荒れ果てた土地のように、

わたしの心はあなたを慕い、

からだはあなたをかわき求める。

あなたの力と栄えにあこがれて、

聖所であなたを仰ぎ見る。

あなたの恵みはいのちにまさり、

わたしの口はあなたをたたえる。

いのちのある限り、あなたに感謝し、
手を高く上げてあなたの名を呼び求める。
もてなしを受けた時のように、
わたしの心は豊かになり、口には喜びの歌がのぼる。

床の中であなたを思い起こし、
夜どおし、あなたのことを思う。
あなたはわたしの助け。
あなたの翼のかげにわたしは隠れる。

わたしの心はあなたにたより、
あなたの右の手はわたしをささえる。
栄光は父と子と聖霊に、
初めのように今もいつも世々に。アーメン。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

第二唱和 (ダニエル 3・57-88、56) すべてのものは神をたたえる

先 神よ、あなたはすべてにまさり、代々にほめたたえられる。(アレルヤ。)

造られたものはみな神を賛美し、
代々に神をほめたたえよ。
天のすべてのものは神を賛美し、
神の使いは神をたたえよ。

空の上の水はみな神を賛美し、
天のすべての力は神をたたえよ。
太陽と月は神を賛美し、
空の星は神をたたえよ。

雨と露は神を賛美し、
すべての風は神をたたえよ。
火と暑さは神を賛美し、
冬の厳しさも神をたたえよ。

かすみと霧は神を賛美し、
霜と寒さも神をたたえよ。
氷と雪は神を賛美し、
夜も昼も神をたたえよ。

光とやみは神を賛美し、
稲妻と雲は神をたたえよ。
大地は神を賛美し、

代々に神をほめたたえよ。

山と丘は神を賛美し、
地にはえる草木は神をたたえよ。
泉の水は神を賛美し、
海も川も神をたたえよ。

海の獣、水に住む生き物は神を賛美し、
空の鳥は神をたたえよ。
野の獣と家畜は神を賛美し、
すべての人は神をたたえよ。

イスラエルは神を賛美し、
代々に神をほめたたえよ。
神の祭司は神を賛美し、
神のしもべは神をたたえよ。

神に従う人は神を賛美し、
神を敬い、へりくだる人は神をたたえよ。
アナニア、アサリア、ミサエルは神を賛美し、
代々に神をほめたたえよ。

賛美は父と子と聖霊に、
代々に神をほめたたえよう。
神よ、高い大空の中であなたは賛美され、
すべてにまさり、代々にほめたたえられる。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

第三唱和（詩編149）民のつどいの喜び

先 シオンの子らはその王を喜べ。アレルヤ。

待降節、降誕節、四旬節に

先 神はその民を心に留め、貧しい人を勝利で飾られる。（アレルヤ。）

新しい歌を神に歌い、
民のつどいで神を賛美しよう。
イスラエルはその造り主を喜び、
シオンの子らはその王を喜べ。

舞をささげて神の名をほめ、
鼓と琴に合わせて神をたたえよ。

神はその民を心に留め、
貧しい人を勝利で飾られる。

栄光をあびて神の民は喜び、
神に仕え、高らかに歌う。
かれらの口には神への賛美、
手には鋭い剣がある。

諸国はその報いを受け、その民はしずめられ、
王はくさりで、諸侯はかせでつながれる。
定められたさばきを果たすこと、
これは神を敬う人の誉れ。
栄光は父と子と聖霊に、
初めのように今もいつも世々に。アーメン。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

ことばの典礼

5 その日のミサのことばの典礼を続ける。

6 第一朗読

朗読者はミサと同じように聖書を朗読する。朗読の後、一同は沈黙のうちに神のことばを味わう。

7 答唱詩編

一同は答唱詩編を歌うか唱える。

8 第二朗読

第一朗読と同じように行われる。朗読の後、一同は沈黙のうちに神のことばを味わう。

9 アレルヤ唱（詠唱）

一同は起立し、アレルヤ唱（詠唱）を歌う。

10 福音朗読

通常は、助祭が朗読する。

助祭が不在で信徒の司会者が朗読する場合、朗読前の「主は皆さんとともに」は省く。

助 主は皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

助 ○○○による福音。

会衆 主に栄光。

朗読の後、助祭または信徒の司会者は福音書を両手で掲げて唱える。

助 キリストに賛美。

会衆 キリストに賛美。

11 説教（勧めのことば）

助祭が司式する場合は説教を行う。

信徒が司会する場合、司祭があらかじめ準備した説教を読み上げるか、司祭とともに準備した、福音朗読に基づくふさわしい勧めのことばを述べることができる。

説教（勧めのことば）の後、一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

12 信仰宣言

一同は起立して、以下のいずれかの信条を歌うか唱える。

ニケア・コンスタンチノーブル信条

一同 わたしは信じます。唯一の神、全能の父、
天と地、見えるもの、見えないもの、すべてのものの造り主を。
わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。
主は神のひとり子、すべてに先立って父より生まれ、
神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、
造られることなく生まれ、父と一体。すべては主によって造られました。
主は、わたしたち人類のため、わたしたちの救いのために天からくだり、
以下、「人となりました」まで一同は礼をする。
聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、人となりました。
ポンティオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、
苦しみを受け、葬られ、
聖書にあるとおり三日目に復活し、天に昇り、父の右の座に着いておられます。
主は、生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。
その国は終わることがありません。
わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。
聖霊は、父と子から出て、父と子とともに礼拝され、栄光を受け、
また預言者をとおして語られました。
わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。
罪のゆるしをもたらす唯一の洗礼を認め、
死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。
アーメン。

使徒信条

一同 天地の創造主、全能の父である神を信じます。
父のひとり子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。
以下、「おとめマリアから生まれ」まで一同は礼をする。

主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、
十字架につけられて死に、葬られ、陰府に下り、
三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父である神の右の座に着き、
生者と死者を裁くために来られます。
聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだの復活、永遠のいのちを信じます。
アーメン。

13 共同祈願（信者の祈り）

司会者の招きが続いて、他の奉仕者が意向を唱える。

交わりの儀

14 共同祈願が終わると、司会者あるいは他の奉仕者は祭壇の準備をする。

15 主の祈り

司会者の招きが続いて、一同は主の祈りを唱える。

一同 天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

16 平和のあいさつ

適当であれば、司会者の招きが続いて、一同は手を合わせ、たとえば「主の平和」と言って互いに礼をすることができる。

17 拝領

司会者は、会衆に向かってはっきりとした声で唱える。

司 神の小羊の食卓に招かれた者は幸い。

一同 主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、
あなたをおいてだれのところに行きましよう。

18 拝領が始まると拝領の歌を歌うことができる。

司会者（と聖体授与の臨時の奉仕者）は、ホスティアを取って拝領者一人ひとりに示して言う。

司 キリストの御からだ。

拝領者 アーメン。

19 拝領後、ホスティアが残っている場合は定められた場所に納め、使用した祭器具などを片づけてから、一同は着席してしばらく沈黙のうちに祈る。

20 ザカリアの歌

続いて、一同は起立してザカリアの歌を歌う。歌の初めに一同は十字架のしるしをする。

交唱 神をほめたたえよ。イスラエルの神は民を訪れてあがなわれた。(アレルヤ。)

✦ 神をほめたたえよ、イスラエルの神を。

神は民を訪れてあがない、
わたしたちのために力強い救い主を、
しもベダビデの家に立てられた。

神は昔、預言者によって語られたように、
わたしたちに逆らう者、うらみをいただく者の手から、
わたしたちを救い、祖先をあわれみ、
とうとい契約を心に留められた。

神は先祖アブラハムに約束されたとおりに、
逆らう者からわたしたちを救われた。
生涯をきよく正しく平和に送り、
神に仕えることができるように。

幼子よ、おまえも神の預言者と呼ばれ、
主の前を歩み、その道をととのえ、
罪のゆるしによる救いをその民に知らせる。
すべては神のあわれみのところによる。

神の深いあわれみにより、
夜明けの太陽はわたしたちに臨み、
やみと死の陰にある人を照らし、
わたしたちの歩みを平和に導く。
栄光は父と子と聖霊に、
初めのように今もいつも世々に。アーメン。

交唱 神をほめたたえよ。イスラエルの神は民を訪れてあがなわれた。(アレルヤ。)

21 拝領祈願

司 祈りましょう。

一同は司会者とともにしばらく沈黙のうちに祈る。

司 ……わたしたちの主イエス・キリストによって。
会衆 アーメン。

閉祭

22 お知らせ

必要に応じて会衆に対して短いお知らせが行われる。

23 祝福と派遣

助 主は皆さんとともに。
会衆 また司祭とともに。
助 全能の神、父と子と聖霊の祝福が ✝ 皆さんの上にありますように。
会衆 アーメン。
助 行きましょう。主の平和のうちに。(アレルヤ。)
会衆 神に感謝。(アレルヤ。)

信徒が司会する場合、会衆とともに十字架のしるしをしながら言う。

司 ✝ 全能の神がわたしたちを祝福し、
すべての悪から守り、永遠のいのちに導いてくださいますように。
会衆 アーメン。
司 賛美と感謝のうちに。
会衆 アーメン。

24 結びにふさわしい聖歌を歌うことができる。